

令和6年度 e-モニターアンケート調査の結果について

1. アンケート調査の概要	1
2. アンケート調査の結果	
(1) 「みえ森と緑の県民税」の認知度	2
(2) 「森林環境譲与税」及び「森林環境税」の認知度	4
(3) 今後の対応	4

1. アンケート調査の概要

- ・実施期間 令和6年7月10日から7月16日
- ・対象者 民間リサーチ会社が抱える県内の顧客
- ・回答数 1,000名
- ・回答者の構成

【年代別】

	10代～20代	30代	40代	50代	60代～80代
人数	130人	125人	170人	159人	416人
割合	13.0%	12.5%	17.0%	15.9%	41.6%

【地域別】

	北勢	中南勢・伊賀	伊勢志摩・東紀州
人数	464人	366人	170人
割合	46.4%	36.6%	17.0%

※北 勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中 南 勢：津市、松阪市、多気郡

伊 賀：名張市、伊賀市

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

東 紀 州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡

2. アンケート調査の結果

(1) 「みえ森と緑の県民税」の認知度

三重県では平成26年から「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、「みえ森と緑の県民税」を導入し、個人は年額1,000円、法人は資本金額に応じた県民税均等割の10%相当額（年額2,000円～80,000円）を納めていただいています。この「みえ森と緑の県民税」を活用して、県では災害に強い森林づくりに取り組むとともに、市町が人家裏や通学路沿いの暮らしに身近な危険木の伐採、教育現場への木製備品の導入等地域に密着した取組を行っています。

あなたは、「みえ森と緑の県民税」をご存じですか。

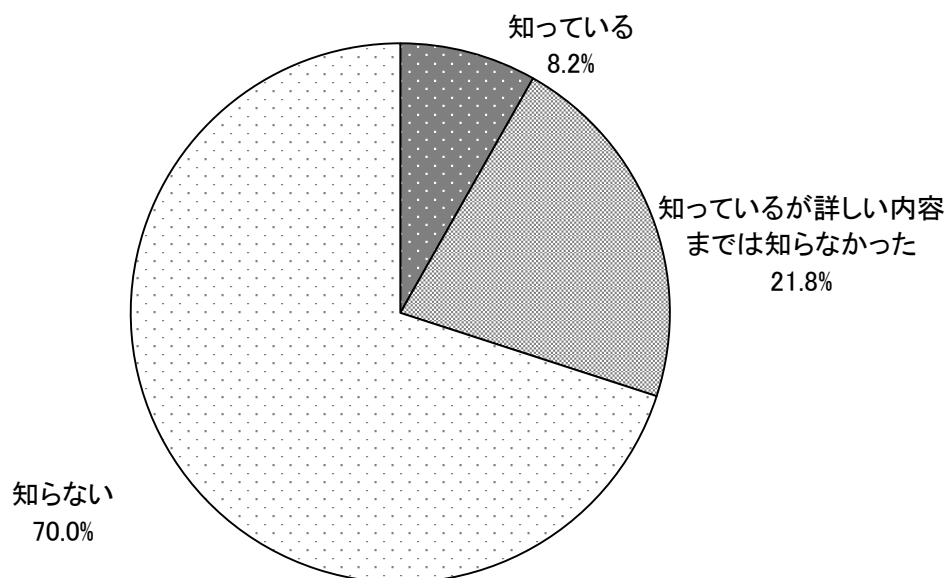
A1：知っている

A2：知っているが詳しい内容までは知らなかった

A3：知らない

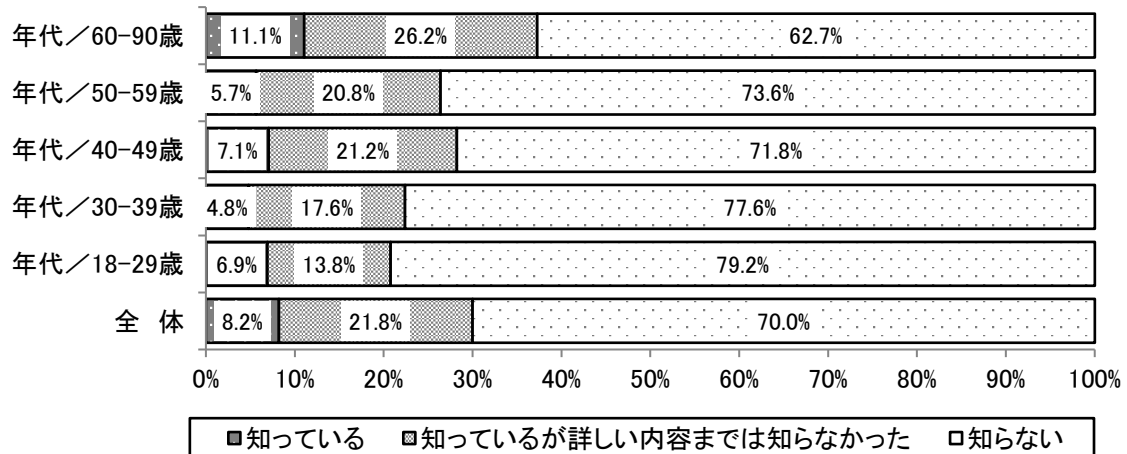
【単純集計】

みえ森と緑の県民税について、「知っている」と回答した割合は8.2%、「知っているが詳しい内容までは知らなかった」と回答した割合は21.8%となり、認知している人の割合は、30.0%（前年度比+8.8ポイント）となりました。



【年代別集計】

年代別で比較すると、「60代以上」の認知度が最も高く（37.3%）、「20代以下」で最も低くなりました（20.8%）。



【認知度の推移】

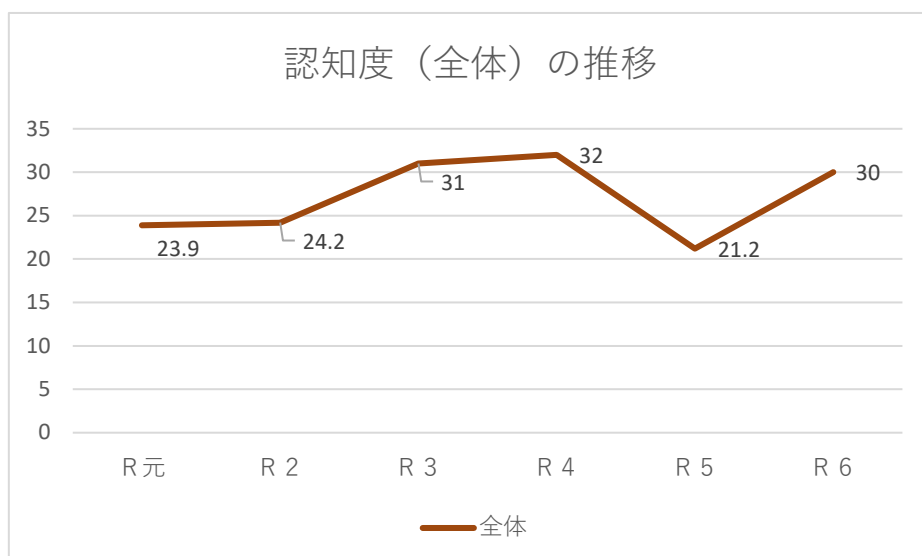
令和5年度と比べると、認知度は、8.8ポイント上昇しました。年代別にみると、全ての年代で認知度は上昇しており、特に、「40代」と「60代以上」では、令和5年度より10ポイント以上の上昇となりました。

県民税の認知度の推移

年代別の認知度 (%)

年度	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
R元	0	17.4	17.1	25.0	21.8	33.3	30.0	23.9
R2	0	21.1	20.0	25.5	25.3	27.7	22.2	24.2
R3	0	22.2	29.5	27.6	29.8	34.3	51.8	31.0
R4	0	23.2	23.7	27.5	30.4	39.4	52.2	32.0
R5		16.5	18.4	15.3	25.1		25.5	21.2※
R6		20.8	22.4	28.2	26.4		37.3	30.0※

※令和4年度までは、県が無作為抽出した候補者に対して募集を行っていたが、令和5年度からは、民間モニター会社が保有するモニターを活用した電子アンケートに変更となった。



(2) 「森林環境譲与税」及び「森林環境税」の認知度

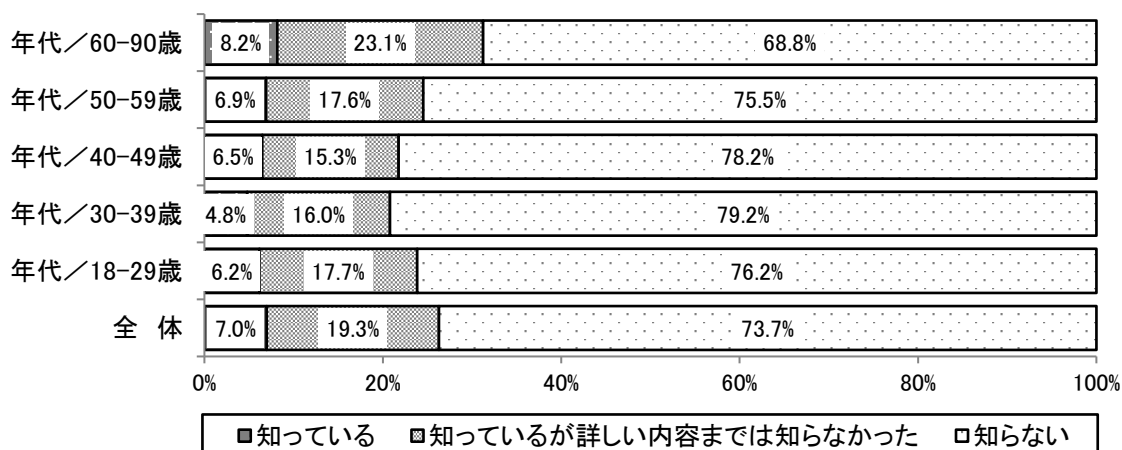
温室効果ガス排出削減目標の達成等に向けて、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保するため、令和元年度から全国の市町村や都道府県に対し、「森林環境譲与税」が国から譲与されており、市町においては主に森林の公的な管理をはじめとする森林整備等に、県は森林整備を実施する市町の支援や林業人材の育成等に取り組んでいます。なお、当譲与税の財源として、令和6年度から個人の方に森林環境税として年間1,000円を納めていただくことになっています。

あなたは、「森林環境譲与税」及び「森林環境税」をご存じですか。

A1：知っている A2：知っているが詳しい内容までは知らなかった
A3：知らない

【集計結果】

森林環境譲与税及び森林環境税について、「知っている」と回答した割合は7.0%、「知っているが詳しい内容までは知らなかった」と回答した割合は19.3%となり、認知している人の割合は26.3%（前年度比+8.9ポイント）となりました。



(3) 今後の対応

みえ森と緑の県民税の認知度は、令和5年度と比較して上昇する結果となりました。20～30代の若年層においても認知度の上昇が見られましたが、依然として、他の世代と比較すると低い傾向にあります。

今後も、認知度の向上に向けて、インターネットなどさまざまな媒体を活用した効果的な情報発信に努めてまいります。